

# のは は に わ

2021 2022  
12月11日 [土] → 2月6日 [日]  
県立さきたま史跡の博物館



**主催**

公益財団法人  
埼玉県埋蔵文化財調査事業団

**共催**

埼玉県教育委員会  
埼玉県立さきたま史跡の博物館

.....  
令和3年12月11日発行

**編集・発行**

公益財団法人  
埼玉県埋蔵文化財調査事業団

〒369-0108 埼玉県熊谷市船木台四丁目4-1

[TEL] 0493-39-3955

[URL] <https://www.saimaibun.or.jp>

# こふんってなあに？

こふん ち  
古墳は、土を  
たか も あ  
高く盛り上げた  
つか なか な  
塚の中に、亡く  
なつた人を埋葬したお  
墓です。今から約1800

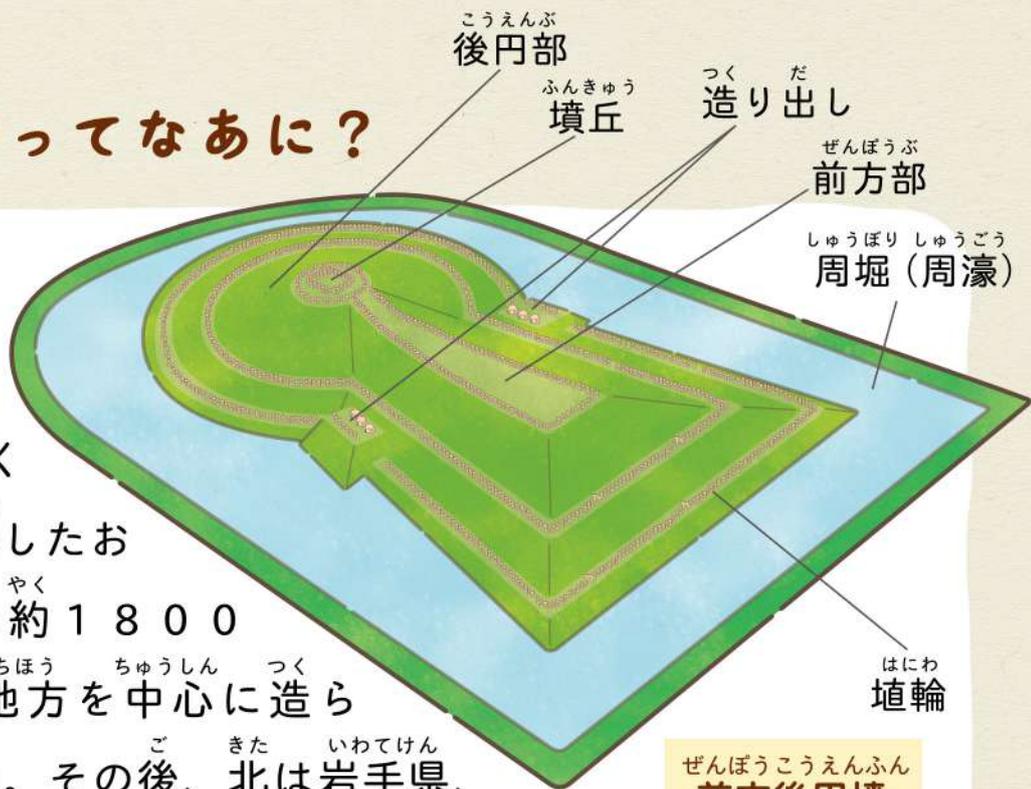
ねんまえ きんき ちほう ちゅうしん つく  
年前から近畿地方を中心に造ら

れはじめました。その後、北は岩手県、

みなみ かごしまけん ひろ うえ  
南は鹿児島県に広まりました。上からみ

かたち ぜんぼうこうえんふん えんぶん ほうふん よ  
た形によって、「前方後円墳」「円墳」「方墳」などと呼ばれ  
ています。

おお こふん つく ざいりょう じかん ひと ちから  
大きな古墳を造るには、たくさんの材料・時間・人の力  
ひつよう こふん おう けんりよく しょうちよう  
が必要でした。古墳には「王の権力」が象徴されています。



ぜんぼうこうえんふん  
前方後円墳  
(イメージ図)

# はにわってなあに？

はにわは、こふん うえ た すやき ぞうけいひん じんぶつ  
古墳の上に立てられた素焼の造形品です。人物  
どうぶつ かたち  
や動物などのさまざまな形がつけられました。

さいしょ つつがた こふん つく  
最初につくられたはにわは、筒形のもので、古墳が造ら  
れるまえ じだい そのな よう うつわ つぼ だい きだい の  
前の時代には、お供え用の器(壺)が台(器台)に載せ  
られてお墓に捧げられていました。この「器台」が筒形のは  
えんとう へったつ こふん まわ なら  
にわ(円筒はにわ)に発達し、古墳の周りに並べられました。

また、壺が器台に載せられた姿もつくれ、「朝顔形はにわ」と呼ばれています。

次に登場するのは、家や大刀・盾などのはにわです。家は墳頂に置かれ、古墳に眠る人の住まいが表されています。その周りには、円筒と大刀・盾が並べられ、家に住む人を守るという願いが込められていました。

古墳時代の中頃になると、人物や動物のはにわが登場します。「王の交代」「お葬式」などの儀式、政治を執り行った様子など、「王の物語」が表現されています。また、動物のはにわは、「財力」「武力」「威厳」などを表すとともに、「狩猟」などの場面にも登場します。

## はにわ れきし 埴輪の歴史

さいしょ  
最初は  
お供え用の  
つぼ  
壺と  
きだい  
器台  
だった

きだい かたち  
器台の形が  
へんか  
変化してきて...



# どうぶつ 動物のはにわ

どうぶつ 動物のはにわのなかで、<sup>さいしょ どうじょう</sup>最初に登場したのは<sup>にわとり</sup>鶏や  
<sup>みずとり</sup>水鳥です。その後、<sup>ご うまいのしししか いぬ つづ</sup>馬・猪・鹿・犬が続きます。まれに、  
<sup>ざる さかな うし</sup>猿・魚・牛などもみつかっています。



にわとり

## 鶏

は、<sup>あた</sup>「新しい朝を迎える夜明け」<sup>あさ むか</sup>に鳴くことか  
<sup>あら</sup>ら、「新たなものへの生まれ変わり」<sup>う か ひょうげん</sup>が表現されてい  
<sup>かんが</sup>たと考えられています。また、<sup>そうちょう おう まつりごと と</sup>早朝に王が政を執り  
<sup>おこな</sup>行っていた「時」<sup>とき</sup>が表されていたともいわれています。



しもみちぞえ いせき みなみちくこふんあと  
下道添遺跡 南地区古墳跡

ひがしまつやまし  
(東松山市)  
こふんじだい こうき たか やく  
古墳時代・後期 高さ：約 36cm



こ ぬまごうち いせき だい ごうふん  
小沼耕地遺跡 第1号墳

かぞし  
(加須市)  
こふんじだい こうき  
古墳時代・後期  
たか やく  
高さ：約 50cm

## みずとり 水鳥

は、<sup>はくちょう かも つる わた</sup>白鳥や鴨、鶴などの渡り  
<sup>とり ひょうげん</sup>鳥が表現されています。遠くから来て空高く  
<sup>とお き そらたか</sup>飛んでいくことから、<sup>な</sup>亡くなった者の魂を導  
<sup>はこ やくわり</sup>き、運ぶ役割をもつと考えられていました。

## うま 馬

は、<sup>どうぶつはにわ</sup>動物埴輪のなかで<sup>もっと</sup>最  
<sup>おお</sup>も多くみつかっています。全身  
<sup>かざ かなぐ</sup>に飾り金具をまとった<sup>うま ぎしき</sup>馬が儀式  
<sup>なら ようす</sup>に並んだ様子には、<sup>うま しょゆう</sup>馬を所有し  
<sup>こふん ほうむ</sup>た古墳に葬られた王の<sup>おう けんい ざい</sup>権威や財

ひろ き おおまち こふんぐん  
広木大町古墳群  
だい ごうふん  
第41号墳

みさとまち  
(美里町)  
こふんじだい こうき  
古墳時代・後期  
たか やく  
高さ：約 58cm



りよく 力をうかがうことができます。ほかに、「鞍を乗せた馬」や「裸馬」もあります。

うま とうじ ひと くら しゃかい へんかく ぎ  
馬は、当時の人びとの暮らしや社会に大きな変革をもたらしました。儀  
しき きじょう ぐんよう のうさぎょう にえき ゆそう じょうほうでんたつ ちょうほう どうぶつ  
式や騎乗・軍用、農作業、荷役や輸送・情報伝達に重宝された動物です。

## しか 鹿

あま りよう きちょう どうぶつしげん  
は、余すことなく利用できる貴重な動物資源で  
した。また、つのはか さいせい きも  
角が生え変わることから「再生の気持ち」  
こ しんせい どうぶつ  
も込められた神聖な動物でもあります。

しかが しゅりょう ばめん こふん ほうむ  
「鹿狩り」は狩猟の場面のほかに、古墳に葬られた  
おう かみがみ かか ひょうげん  
王と神々の関わりも表現されていたのかもしれない。



でん なまの やま こふんぐん  
(伝) 生野山古墳群

ほんじょうし  
(本庄市)  
こふんじだい こうき  
古墳時代・後期  
ざんこう やく  
残高：約 32cm



## いのしし

## 猪

じょうもんじだい みちか どうぶつ  
は、縄文時代から身近にいた動物で  
す。こふん うえ いぬ かりゅうど はいち  
古墳の上では、犬や狩人とともに配置  
され、いのししが ばめん そうぞう どう  
「猪狩り」の場面が想像されます。「獐  
もう いのしし か すがた こふん ほうむ おう  
猛な猪を狩る」姿には、古墳に葬られた王  
つよ りきりょう ひょうげん いと  
の強さや力量を表現する意図があったとも

かんが  
考えられています。

しん や しき いせき だい ごうふんあと  
新屋敷遺跡 第15号墳跡

こうのすし  
(鴻巣市)  
こふんじだい こうき  
古墳時代・後期  
たか やく  
高さ：約 34.4cm

## いぬ 犬

か とも かりゅうど  
は、「狩り」のお供として、狩人  
はいち いぬ とくちょう  
とともに配置されます。犬の特徴と  
こ えが おっぼ くびわ ひょうげん  
して、孤を描く尻尾や首輪の表現が  
みられます。



しん や しき いせき だい ごうふんあと  
新屋敷遺跡 第15号墳跡

こうのすし  
(鴻巣市)  
こふんじだい こうき  
古墳時代・後期  
たか やく  
高さ：約 33cm

# ち ず はにわ地図

てんじいせき いちらん  
展示遺跡一覧

3 ひろきおおまち こふんぐん  
広木大町古墳群  
みさとまち  
(美里町)

2 でん なまのやま こふんぐん  
(伝) 生野山古墳群  
しゅつど ほんじょうし  
出土 (本庄市)



1 あおやぎこふんぐん じゅうにがやとしぐん  
青柳古墳群十二ヶ谷支群  
かみかわまち  
(神川町)

4 でん ほんごうしゅつど  
(伝) 本郷出土  
ふかやし  
(深谷市)

5 でん やまざきやましゅつど  
(伝) 山崎山出土  
ふかやし  
(深谷市)



6 おまえだ こふんぐん ふかやし  
小前田古墳群 (深谷市)



8 きたじまいせき くまがやし  
北島遺跡 (熊谷市)



7 みかじり こふんぐん くまがやし  
三ヶ尻古墳群 (熊谷市)



11 さくらやまようせきぐん ひがしまつやまし  
桜山窯跡群 (東松山市)



9 しんやしき いせき  
新屋敷遺跡  
(鴻巣市)

10 こぬまごうち  
小沼耕地  
いせき  
遺跡  
(加須市)



12 しもみちぞえ いせき  
下道添遺跡  
(東松山市)

ばんごう 番号      しちょうそん 市町村      いせき なまえ 遺跡の名前      てんじちゆう 展示中のはにわ

ばんごう 番号	しちょうそん 市町村	いせき なまえ 遺跡の名前	てんじちゆう 展示中のはにわ
1	かみかわまち 神川町	あおやぎこふんぐん じゅうにがやと しぐん 青柳古墳群十二ヶ谷戸支群	
2	ほんじょうし 本庄市	でん なまのやま こふんぐん しゅつど (伝) 生野山古墳群出土	
3	みさとまち 美里町	ひろきおおまち こふんぐん 広木大町古墳群	
4	ふかやし 深谷市	でんほんごうしゅつど (伝) 本郷出土	
5	ふかやし 深谷市	でんやまざきやましゅつど (伝) 山崎山出土	
6	ふかやし 深谷市	おまえだ こふんぐん 小前田古墳群	
7	くまがやし 熊谷市	みかじり こふんぐん 三ヶ尻古墳群	
8	くまがやし 熊谷市	きたじま いせき 北島遺跡	
9	こうのすし 鴻巣市	しんやしき いせき 新屋敷遺跡	
10	かぞし 加須市	こぬまごうち いせき 小沼耕地遺跡	
11	ひがしまつやまし 東松山市	さくらやまようせきぐん 桜山窯跡群	
12	ひがしまつやまし 東松山市	しもみちぞえ いせき 下道添遺跡	

# はにわができるまで

## 1 ねんど 粘土づくり

- ① 湿地帯や丘の斜面から適した土を採掘してくる
- ② 砂を混ぜ、よく練って空気を抜く
- ③ 通気性の良い日陰で寝かせて粘りを出す

## 2 せいけい 整形

- ① 4本の筒を長方形に並べて足の部分を作る
- ② 前足どうし、後足どうしを粘土で接着する



- ③ 粘土の帯を組み合わせて前足と後足をつなげて、腹部を作る



- ④ 整形し、胴体の下半分が完成



- ⑤ 胴体の上半分を作る



- ⑥ 首をたちあげていく



- ⑦ 筒状の鼻をとりつけ、板状の粘土で両側から挟む



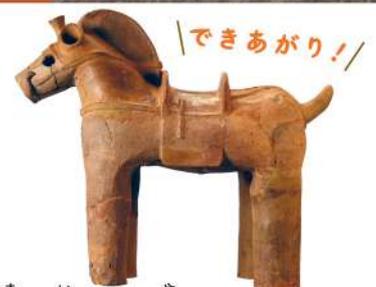
- ⑧ 耳・たてがみ・しっぽ・馬具などを取り付ける  
鼻の先端をふさぎ、目・鼻・口を整え、胸と尻に円孔をあける

- ⑨ 陰干しして乾かす

## 3 かま まきあつ 窯づくりと薪集め

- ① 山の斜面などに窯の底になる溝を掘る
- ② 屋根部分は木の枝などで骨組を作って粘土で固める
- ③ 煙突や窓をつけて火の入りを調整し、空焚きする
- ④ その上に雨除けの屋根をつける
- ⑤ 木を伐採して燃料の薪を調達する

## 4 しょうせい 焼成



かまに入れて焼きあがったら完成